

# ひめだ高松ニュース

日本共産党 和歌山市公議員

No.882

11.10.5

## 9月定例会市議会報告



10月になって涼しさを通りこし、グンと寒くなり  
ました。長ンデワイシャツの上に一枚着ています。  
そ水でも市議会のクールビズは、10月いっはい続く  
そうです。9月30日、定例会市議会が終わりました。

### 日本共産党市議会議員団 議案17件中3件に反対

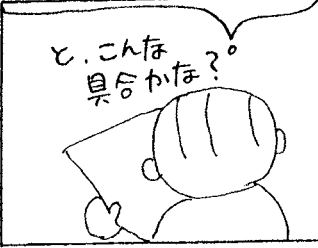
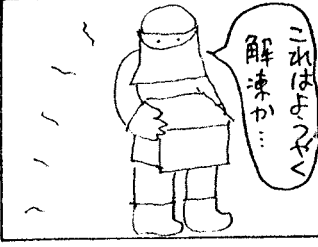
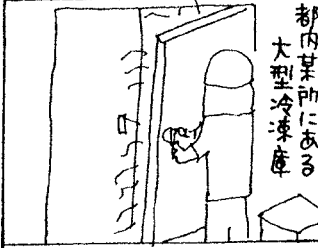
9月定例会市議会に提案さ  
れた17件の議案のうち、日  
本共産党市議会議員団は、問  
題のある補正予算、市税条  
例、中筋日延児童遊園にか  
かる「和解案」の3件に反  
対し、採決に先立つ反対討  
論は、私、ひめだが行いま

した。補正予算では、北清  
掃事務所の建て替えに係る  
設計委託料について、老朽  
化した施設の建て替えの必  
要性は認めるものの、ゴミ  
減量化や収集業務の民間委  
託など今後のゴミ行政の内  
容が十分示されないまま建

て替えを進める。しかも建  
て替えの仕方そのものも委  
託で決めることが問題です。  
中筋日延児童遊園は、造  
成以来36年間、市が市の公  
園として管理してきたこと  
は厳然な事実であり、市が  
登記をしなかつたといえ  
市に帰属しているものです。  
登記簿上の現所有者からの  
明け渡し請求には毅然と対  
応すべきであり、「和解案  
」とこの予算には反対です。  
市税条例は、法律の改定  
によるものとしても、未申  
告を理由にした過料の引き  
上げ幅が3万円から一挙に  
10万円と高くなっているこ  
と、本則20%の株式配当に  
対する課税を10%に減額す

### フリーの人々

<665>



る制度を2年間延長するこ  
とには反対です。この減税  
は03年から7年間で15億  
もの減税となっています。

こにちは  
日本共産党の  
ふじい 健太郎  
です。  
(30307)

私は今、「原発問題」  
の学習会を党支部や後援  
会の皆さんの協力を得て  
開いてもらうことに取り  
組んでいます。

8月28日、近畿の原発  
銀座と呼ばれている福井  
県に原発の見学に行きま  
した。敦賀原発2基、美  
浜原発3基、大飯原発4  
基、高浜原発4基、高速  
増殖炉「もんじゅ」と廃  
炉中の「ふげん」、合計  
15基あり、原発銀座の名  
の通り福井県に集中して  
います。さらに敦賀に2  
基増設工事が始められて  
います。

和歌山県でも1960

は03年から7年間で15億  
もの減税となっています。

年、代から70年代にかけて  
日高町、旧日置川町、旧  
古座町、那智勝浦町で原  
発建設計画が明らかにな  
りましたが、住民の建設  
に反対する運動により、  
現在、県内には、基の原  
発もありません。

しかし、電力会社はあ  
きらめたわけではなく、  
仁坂知事も原発を認め、  
建設の是非は住民次第と  
いう姿勢です。

福島事故はあらため  
て原発の恐ろしさを教え  
てくれました。しっかりと  
学んで将来の世代につな  
いでいくことが大事だと  
思います。

ふじい 健太郎  
前 県 会 議 員

# 中筋日延「和解案」本会議でも否決

中筋日延児童遊園の「和解案」については、絆クラブの野嶋広子議員が反対討論を、民主クラブの永野裕論を、漁業用軽油にかかる

# 軽油引取税免税措置継続を

9月定例会市議会に、加太漁業協同組合外7漁業協同組合から提出された「漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置継続の意見書提出を求める請願」は全会一致で採択された。意見書を総理・総務・財務・農林水産・経済産業大臣に提出することが決まりました。

# こんにちは日本共産党



「不患口」(ふあつく) 仙教の教えで「言葉を凶器として用い、人を傷つけることなかれ」という戒めです。菅前首相が再開したお遍路で語った

していることに対し、本市沿岸漁業地域は、主に軽油を燃料に使用している零細漁業者が多く、免税措置の廃止は漁業者にとって死活

# 10年度決算特別委員会設置

10年度の水道決算を審議する公営企業決算特別委員会(11人、日本共産党委員は松坂みち子議員と森下さち子議員)と一般会計・各特別会計の決算を審議する決算特別委員会(同じく南

言葉で、「口を開けば悪口になるから」と、野田政権について口をつぐんだそうです。

国会の自民党は「不患口」とは無縁の言いたい放題、原案からの撤退を求める世論を「危険神話」だと言い放ち、「靖国神社に参拝せよ」と息巻いています。日本共産党は志位委員長

問題であることは明らかとし、食料産業存続と漁業者の経営安定のために免税措置継続に必要な措置を求め

# 日本共産党和歌山市南ブロック後援会

9月18日(日)午後、紀三井寺・地場産業センターで日本共産党南ブロック後援会主催の原発学習会が開

# 原発からの撤退を

予算の使い方や成果、ムダがなかったかなど、しっかり審議したいと思えます。



が「原発事故の原因究明がすべてのスタートの大前提」と首相に認めさせ、安易な原発再稼働にクギをさしました。市田書記局長は「被災した全ての医療機関を支援する」と約束させました。国民を悪口で攻撃するのも、国民の立場で暮らさしを守るのも言葉の力です。

ました。学習会は、ふじい健太郎さんが原発計画と県政、日本共産党の提言について、環境ネットワーク事務局次長の目宿二郎さんが原発に代わる自然エネルギーについて話をしてくれました。両人ともパソコンを伴って資料が見えるようにした上での話でした。目宿さんの話は、原発がなくてもピーク時の一時だけ

が設置されました。公営企業決算は4日と5日に開かれました。決算委員会は14日(金)、17日(月)と20日(木)に開かれます。予算の使い方や成果、ムダがなかったかなど、しっかり審議したいと思えます。